

次世代農業エネルギー研究会設立の呼びかけ文

千葉エコ・エネルギー株式会社	代表	馬上丈司
千葉商科大学	学長	原科幸彦
三重大学生物資源学研究科	教授	梅崎輝尚
千葉大学園芸学研究科	教授	磯田昭弘
千葉大学人文公共学府	教授	倉阪秀史
実践女子大学生活科学部	准教授	野津 喬
千葉商科大学基盤教育機構	准教授	田中信一郎

昨今、世界的な再生可能エネルギー導入拡大の動きの中で、我が国でも太陽光発電を中心とした再生可能エネルギー発電設備が急速に普及しています。かつて、我が国は世界最先端の太陽光発電技術先進国でありましたが、ここ数年の新たな動きとして営農型太陽光発電（ソーラーシェアリング）が日本初の技術として世界的にも普及しつつあります。ソーラーシェアリングは、農地における営農の継続を前提として農業と共生する太陽光発電事業の実施を認めるという、画期的な仕組みとして認められるようになりました。同様に、農山漁村再生可能エネルギー法の成立により、小水力発電やバイオマス発電を始めとする、多様な再生可能エネルギーを農山漁村に導入し、その振興を図るという方向性も示されています。

我が国の農業は、従事者の高齢化や後継者の減少、耕作放棄地・荒廃農地の拡大といった問題を抱えており、これまでの農業政策とは異なった農業振興のためのアプローチが求められています。そして、再生可能エネルギー発電の普及を図るというエネルギー転換の世界的な潮流の中で、この限られた国土の中で地域の環境や産業との調和を図りつつ、更なる再生可能エネルギー導入を進めるための方策を考えることや、農業におけるエネルギー転換をどのように進めるかという視点も重要です。

今般、農村における再生可能エネルギーの導入や、農業におけるエネルギー活用の転換、ソーラーシェアリングなど再生可能エネルギーと共存する作物生産といった研究に学際的な見地から取り組み、日本発の新たな農業、そして再生可能エネルギーと地域の活性化モデルとして世界に提案していくことを目的とした、「次世代農業エネルギー研究会」を設立することとしました。この研究会を母体として、今後「次世代農業エネルギー学会」の設立に向けた準備も進めていきます。

本研究会は、現在活躍されている専門分野を問わず、広く農業と再生可能エネルギーの調和と地域活性化への貢献に向けた学術的研究に関心を持つ方の参加を歓迎します。